

# 関西学院大学新聞

2016年12月9日 第829号



発行 関西学院大学新聞編集部  
〒662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155  
関西学院大学新学生会館3F  
電話：(0798) 51-1181  
E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp

## 皆の心に刻まれた 新月祭2016

新月祭2016が、神戸三田キャンパスでは10月22日(土)と23日(日)、西宮上ヶ原キャンパスでは11月3日(祝)から6日(日)、西宮聖和キャンパスでは11月12日(土)と13日(日)という日程で開催された。(関連記事 45面)

大盛況の8日間となった。今年は今日程を通し、延べ約69,000人がキャンパスを訪れた。関西学院大学新月祭2016実行委員会の委員長を務めた村上和希さん(経・3)によると、昨年まではパンフレットの配布数で来場者数を計算していたが、今年はいくつかの団体の企画案をチェック

入。10分間で計測した人数を6倍し、それを元に算出することでより正確な人数を出した。算出方法が違いため一概には言えないが、それでも例年比で来場者は多く、村上さんは「各団体が積極的に企画立案・情報宣伝に努めた結果ではないか」と振り返る。

各団体の企画案をチェックする段階から、学生一人ひとりが真剣に考え、大学祭を創り上げることの素晴らしさを感じていたという村上さん。開会式に出席し、盛り上がる直前の観客や各団体を見て「1年間活動してきて本当に良かった」と実感したという。しかし同時に「これは実行委員会の集大成というより



学生連盟本部公認マスコット ソランも開会式に駆けつけた

も、新月祭2016を目標に活動してきたすべての団体の集大成ではないか」とも述べた。一方、課題も見えた。模擬店周辺に人々が殺到し、大学祭運営に支障が出た可能性がある。また、実



たくさんの人が来場

行委員会が今年から導入した誰でも記入できるアンケートでは、大学祭に対する様々な意見が集まったが、中には実行委員の怠惰な態度を指摘する声もあったという。「実行委員の意識は企画内容や各団体の姿勢に反映される。私たちが心から楽しんで活動していれば、訪れる皆が自ずと楽しむことができる大学祭になる。今後はそこを徹底したい」と話した。

最後に、村上さんは「訪れた人々の記憶に残る大学祭にすることができたと思う。また、支えてくれた大学の関係者の方々や近隣住民の皆様にも改めて感謝したい」と語った。例年にも増した賑わいとなった新月祭2016。今年もその裏には、大学祭準備委員会・実行委員会をはじめ、

### 扉の一言

地獄は相変わらず、すぐ側にある。いや、最初から側にいたのだ。心からわかった。それだけで儲けものだ。

星野源

## 感謝の気持ちをこめて 吹奏楽部第55回定期演奏会

11月22日、応援団総部吹奏楽部が兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホールにて第55回定期演奏会を開催した。会場にはOBやOG、地域の方々など約1700人が集まり、大盛況のうちに幕を閉じた。



和田みなみさん

美しいハーモニで会場を魅了した

中学生のころから10年間、トロンボーンを演奏し続けてきた部長の和田みなみさん(文・4)は、「幸せな時間だった。このままずっと吹いていたいと思った」と演奏会を振り返る。

本演奏会は二部構成となっており、アンコールを含む計11曲が演奏された。その中でも部員が最も力を入れた曲は第二部で演奏された『ダンス・ムーブメント』である。2年前にも一度演奏したことがあり、そのときの楽しさが忘れられず、幹部の総意でこの曲を演奏することが決まった。非常に難しい曲で練習中に苦戦することもあったが、それでも挑戦してみたいという一心で取り組んだ。また、同じく第二部で演奏した『三月月に架かるヤコブのはしご』も印象に

- 2,3面 KGニュース
- メルケル首相訪問
- 「連載」追跡!! S.G.U
- 4,5面
- 新月祭2016! 特集

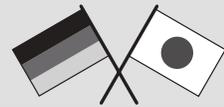
- 6面 教授の背中
- お店探し隊
- 7面 K.G. studio
- 8面 イケメンおごっこの特集

「見えないモノを見よう」として、望遠鏡を覗き込んだ。ロックバンド、BUMP OF CHICKENの楽曲『天体観測』の一節である。この曲を聴くたび、名曲はいつまでも人々の心を掴んで離さないといった思いに駆られる。11月8日に行われたアメリカ合衆国大統領選挙において、共和党内のドナルド・トランプ氏が民主党のヒラリー・クリントン氏に勝利したことは記憶に新しい。選挙期間中に行われたテレビ討論会は、互いを罵り合うことに終始し、史上最も醜い討論会と評された。トランプ氏が大統領になることで、TPP(環太平洋経済連携協定)や米軍駐留費の問題など、我が国にどのような影響を与えるのか目が離せない。開票直前まで、メディアはクリントン氏が優勢だと伝えた。一方で、トランプ氏については、暴言や過去の女性蔑視発言など、ネガティブな面ばかりが目立った。しかし、トランプ氏は激戦州を次々と制し、最後は彼の勝利宣言で幕を閉じた。トランプ氏の当選に多くの人が驚いた。つまり、我々にはアメリカ国民が抱いていた社会に対する不満が見えなかった。そして、我々が見えていたモノだけがアメリカの実情だと理解してしまっていたのである。見えないモノを見ることは難しい。しかし、見えているモノに対して疑問を持つことはできる。懐疑的な態度こそが、我々の「望遠鏡」なのである。

「愛」を奏でる  
残ったという。この曲は応援団総部吹奏楽部が創部40周年を迎えた年に作曲家・編曲家である真島俊夫さんに依頼して作曲していただいた曲である。今年永眠された真島さんへの追悼と心からの感謝の意をこめて演奏された。部員全員が大切にしている曲であり、OB、OGからの期待も大きかった。4回生にとっては最後のとなった今回の演奏会。和田さんは「幹部となつてから、たくさんの方々に出会い、支えられてきた。今までの感謝の気持ちをこめて演奏した」と語る。その熱い思いが届いたのか、演奏会後には大勢の観客の拍手と歓声が会場を包まれた。



# 世界市民への第一歩 ドイツ連邦議会インターンシップ



10月15日から29日までの2週間、ドイツの民主主義や政治の現状を学ぶドイツ連邦議会インターンシップがベルリンで行われた。

このインターンシップは、今年3月に西宮上ヶ原キャンパスで行われた、ドイツ連邦議会議員キリスト教民主・社会同盟会派院内総務のフォルカー・カウター氏の講演会で、同氏より提案されたものだ。講演会に参加した学生の中から課題や面接を経て、佐竹優輝さん(国・4)、福島聖也さん(社・3)、稲垣玲さん(法・2)、下村真未さん(総政・2)の4名がインターンシップに参加した。メルケル首相表敬訪問や日本の八木毅在独全権大使など各国要人との面会、日独フォーラムへの出席、議会活動の視察、政府機関への訪問を行った。

## メルケル首相を表敬訪問

メルケル首相表敬訪問の様子を、佐竹さんは「握手をしてくれたメルケル首相の手はふわふわだった」と冗談交じりで振り返り、稲垣さんは「翌日に各国首脳との会談を控えていたにも関わらず、私たちのために時間を割

いて下さり嬉しかった」と喜びを語ってくれた。難民問題やエネルギー問題EU(欧州連合)などについて政治家や政府高官に個人や国の見解を直接質問する機会も設けられ、答え得る限り最大の回答を貰ったという。また、11月11日に報告会が行われ、インターンシップの工程や参加者の1人1人の成果を学長に報告した。

稲垣さんは「素晴らしいプログラムに参加できたことに感謝している。国のトップの方々の人柄を肌で感じられ、考えられないような貴重な体験ができた。この体験を今後どのように還元していくかが課題だ」と今後に向けての前向きな気持ちを語った。また、佐竹さんは「人生の中で最も充実した2週間だった。世界が直面する諸問題に対し



夢の対面が実現

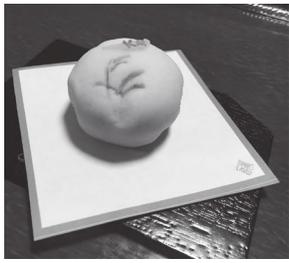
て常に誠実に対応し続ける国であるドイツ要人の生の言葉を聞くことができ、産官学の各分野のトップと話す機会をもらい欧州政治のダイナミズムを感じられた」と熱く話してくれた。

来年度から大学院に国連・外交コースが設置され、ますますグローバル教育に力を入れる本学。実り多い体験をした4名の世界市民としての今後の活躍に期待が膨らむ。

## 創部70年 歴史と真心を込めて

### 茶道部 新月祭茶会

本学茶道部は今年行われた新月祭において茶会を開催した。茶会は11月4日と5日の2日間にわたり本学西宮上ヶ原キャンパスA号館奥の茶室「恵風庵」にて行われた。部員が1ヶ月も前から準備をはじめるといふこの茶会は学生・OB・近隣の方など286人もお客で連日賑わいを見せた。



鶴屋製「新月」

器、花の説明まで手がける。その間に3回生がお点前を披露するという流れだ。会の中で特に観客の歓声を



お点前を披露する横山仁美さん

誘ったのは鮮やかな青色が目を引き、上に校章である「K.G.」と書かれた三日月が添えられているお菓子である。このお菓子は老舗和菓子店鶴屋に注文して作ってもらっているもので「新月」という名前だ。参加者たちはお菓子を眺めたり、写真を撮ったりして楽しんでいった。



茶室「恵風庵」

本茶会について部長の岩崎慧子さん(法・3)は「この茶会では1回生が掛け軸や

茶会では1回生のお茶会デビューと3回生の引退茶会を兼ねていた。お点前の後でお客様に向かって話さなければならぬ後見という役割のほうがない後見という役割のほうがない後見と思う。みんな着物を着て、楽しかった」と笑顔で語る。

甲山落語研究会は週に2回ほど、老人ホームや病院などで落語を披露している。松山さんは観客の層やその場の雰囲気に合わせて「どれだけ笑ってもらえるか」を第一に考えながら、声のボリュームや間のとり方を工夫しているという。

大学に入り「何となく」落語を始めたという松山さんだ



「見に来てくはね!」  
落研引退席開催中



落語を披露する四笑亭笑ん太さん

が、すっかり魅了され、第13回全日本学生落語選手権では日本一に輝いた。現在はプロを見据えて練習に励んでおり、落語の魅力について「人によって感じ方、想像の仕方が違うところですね」と笑顔で語った。

全国各地で深夜寄席が催されるなど「平成の落語ブーム」が巻き起こっている今、あなたも粋な落語の風に吹かれてみてはいかがだろうか。

The 30th  
K.G. Winter Festa

Date: 2016/12/20 tue  
Place: 尼崎市総合文化センター (あましんアルカイックホール)  
Open: 17:30 Start: 18:30  
Ticket: ¥900 (Advanced: ¥800)  
主催: 関西学院大学応援団総部チアリーダー部  
Twitter: @KG\_DOLPHINS  
Mail: kgu.dolphins@yahoo.co.jp  
後援: 関西学院大学応援団総部新月会 関西学院大学応援団総部チアリーダー部 OG会

OVER the TOP

DOLPHINS 50th

3年間、ありがとうございました。

今号をもちまして、8名の3回生が新聞総部を引退いたします。財務管理委員会の解散や学生連盟の発足など、私たち学生を取り巻く環境はここ3年間で大きく変わりました。本学の数々の歴史的な瞬間に少しでも関わったことを、大変嬉しく思います。

ですが同時に、いつまでも変わってはいらないものもあるのではないのでしょうか。学生が自由を謳歌し、生き生きとしている点は、私が本学を愛し、そして本学の学生であることを誇りに思う所以です。後輩たちには、創部約100年の歴史を誇る当部の伝統や存在意義を感じながら、校歌の一節にもあります「輝く自由」を守り継いでほしいと切に願います。

私たちの3年間に関わってくくださった全ての方々、誠にありがとうございました。後輩たちが創ってゆく新聞総部を、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

関西学院大学新聞総部  
総部長 青木萌夏

# 論説 日進月歩 『慎重な外国人労働者の受け入れを』

外国人労働者受け入れに向けての法改正が急速に進んでいる。10月4日の国家戦略特区諮問会議にて、安倍首相は農業分野で国家戦略特区への外国人労働者の受け入れを検討する方針を示した。さらに12日の衆議院予算委員会では、来年の通常国会で外国人労働者受け入れに関する国家戦略特区法改正案の提出を目指すこと述べた。また、18日には外国人介護福祉士の就労を全面的に解禁し、介護現場へ技能実習生の受け入れを認める法案が可決された。

2015年度国勢調査では初の人口減少が観測され、2020年に東京五輪を控えている日本では、今後いかなる産業形態においても労働者の確保は避けては通れない課題である。そのなかでも第一次産業、第二次産業における労働力の減少は顕著であり、安倍首相の提言もこれらの要因を鑑みてのものであろう。しかしながら、先の国家戦略特区諮問会議で外国人労働者の受け入れの検討が始まって

間もないというのに、翌年に法改正案を提出するとはあまりにも早計ではないだろうか。そもそも、日本における外国人労働力の受け入れは歴史的にも活発ではない。第二次世界大戦前は国内の労働力が余剰しており、ブラジル移民に代表される国外への労働力の放出が行われていた。戦後も第一次、第二次ベビーブームや集団就職といった要因により、長期にわたって国内のみで労働力の分配と供給が行われていた。そのため、国外からの大々的な労働力の確保が行われることは長らくなかったのである。

その後転機が訪れたのは、1980年代だ。バブル景気と若年層の高学歴化の中で日本社会が成熟化し、第一次産業、第二次産業に代表される単純労働が「きつい・汚い・危険」のいわゆる「3K」の言葉で敬遠され始めた。日本社会に外国人労働者を求める下地ができたのである。しかし当時、日本において就労目的で滞在を許可されたのは、「商用」「教授」「興行」「技術提供」「熟練労働」の5つの枠内に当てはまる職種が、法務大臣の特別な許可を得た職業のみに限られていた。つまり、外国人労働者の単純労働力としての需要が生じたものの、当時の法規制がその供給を許していなかったのだ。これを受けて、政府は「出入国管理及び難民認定法」の改正による日系人の労働制限の撤廃や、日本の技術を教える途上国発展に生かす「外国人研修制度」の創設と規制緩和

外国人研修制度終了後の更なる技術習得を目指す「技能実習制度」の設立を行った。これらの制度や法令により、外国人労働力の供給が少しずつ行われてきたのだ。外国人労働者受け入れの法整備が進む一方で、その保護や問題点への対処は遅々として進んでいない。外国人研修制度や技能実習制度で入国した外国人の実習先での失踪者数は年々増加している。法務省入国管理局によると2014年度の失踪者は4851人に達したという。中国人研修生の研修先の農村におけるパワーハラスメントや給料未払い、劣悪な居住環境が報道されたことも記憶に新しいだろう。実習先での孤立や異文化確執から傷害事件へ発展することも少なくない。また、介護事業などの医療の領域に外国人がかかわるといふことは、言語の違いが薬の取り違えといった重大な医療事故につながる恐れがある。

それだけではない。外国人研修生にまつわる問題以外にも在日外国人に対する課題は山積みのままだ。言語の違いについての問題は言うまでもなく、ハラルフードに代表される食糧問題や宗教観、倫理観の違いに加えて、外国人参政権、外国人に対して災害時にどのような対処が必要となるかも未解決である。そしてこれらの目先の問題だけでなく、外国人労働者の受け入れには彼らの家族についての問題も忘れてはならない。過去の国外の歴史を見ても、「ドイツにおけるトルコ系外国人

労働者の家族呼び寄せ」が社会問題となった事例がある。特に日本では外国人労働者の子どもの教育問題は深刻で、小・中学校に不勉強の状態にある子どもの増加や外国人学校の認可と助成金の不足といった課題が残る。他にも外国人家族の国籍や社会保障費に対する解決策も出ていない。このような行政側の問題だけでなく、日本国民の側にも外国人に対する偏見が未だ残っている。独立行政法人「労働政策研究・研修機構」が20歳以上の男女4000人を対象に実施した「勤労生活に関する調査」によると、2割の人が職場に外国人がいることに抵抗を感じ、4割の人が近所に住む外国人が増える事に抵抗を感じているのだという。近年の国際化の流れで日本においても外国人が生活する基盤や意識が整いつつある

海外に向けたプログラムの拡充を進めていた本学。だが、海外に興味を持つ学生の多くは日本国内に目を向けることは少なく、日本が直面している問題などへの理解も不足している。一方で、海外の学生は日本のことに大興味を持っており「国際化だけでよいのか。国内のことも目を向けるべきなのではないか」という意見が出てきた。この意見に基づき、インターンシップなどを含めた実社会との関わりを通して、社会の課題に気づき、経験を積み場としてこのプログラムが考案された。

2015年から、まずは共通教育センターにおいてハンズオン・ラーニング科目の拡充・整備が行われ、今年度は平和学特別演習「ヒロシマ」や、香川県の豊島や、広島県の江田島などでのフィールドワークを通じて「環境」や「平和」といった大きなテーマを扱い、自分の足、目そして心で現場を感じ取ることを目標とする「社会探究実習」などが開講されている。一方で、今までキャリアセンターでもインターンシップを含めたキャリアゼミなどを開講していたが、ハンズオン・ラーニングセンターが開設される来年度以降はこの両者が一つになって運営される。

間もないというのに、翌年に法改正案を提出するとはあまりにも早計ではないだろうか。そもそも、日本における外国人労働力の受け入れは歴史的にも活発ではない。第二次世界大戦前は国内の労働力が余剰しており、ブラジル移民に代表される国外への労働力の放出が行われていた。戦後も第一次、第二次ベビーブームや集団就職といった要因により、長期にわたって国内のみで労働力の分配と供給が行われていた。そのため、国外からの大々的な労働力の確保が行われることは長らくなかったのである。

その後転機が訪れたのは、1980年代だ。バブル景気と若年層の高学歴化の中で日本社会が成熟化し、第一次産業、第二次産業に代表される単純労働が「きつい・汚い・危険」のいわゆる「3K」の言葉で敬遠され始めた。日本社会に外国人労働者を求める下地ができたのである。しかし当時、日本において就労目的で滞在を許可されたのは、「商用」「教授」「興行」「技術提供」「熟練労働」の5つの枠内に当てはまる職種が、法務大臣の特別な許可を得た職業のみに限られていた。つまり、外国人労働者の単純労働力としての需要が生じたものの、当時の法規制がその供給を許していなかったのだ。これを受けて、政府は「出入国管理及び難民認定法」の改正による日系人の労働制限の撤廃や、日本の技術を教える途上国発展に生かす「外国人研修制度」の創設と規制緩和

外国人研修制度終了後の更なる技術習得を目指す「技能実習制度」の設立を行った。これらの制度や法令により、外国人労働力の供給が少しずつ行われてきたのだ。外国人労働者受け入れの法整備が進む一方で、その保護や問題点への対処は遅々として進んでいない。外国人研修制度や技能実習制度で入国した外国人の実習先での失踪者数は年々増加している。法務省入国管理局によると2014年度の失踪者は4851人に達したという。中国人研修生の研修先の農村におけるパワーハラスメントや給料未払い、劣悪な居住環境が報道されたことも記憶に新しいだろう。実習先での孤立や異文化確執から傷害事件へ発展することも少なくない。また、介護事業などの医療の領域に外国人がかかわるといふことは、言語の違いが薬の取り違えといった重大な医療事故につながる恐れがある。

それだけではない。外国人研修生にまつわる問題以外にも在日外国人に対する課題は山積みのままだ。言語の違いについての問題は言うまでもなく、ハラルフードに代表される食糧問題や宗教観、倫理観の違いに加えて、外国人参政権、外国人に対して災害時にどのような対処が必要となるかも未解決である。そしてこれらの目先の問題だけでなく、外国人労働者の受け入れには彼らの家族についての問題も忘れてはならない。過去の国外の歴史を見ても、「ドイツにおけるトルコ系外国人

海外に向けたプログラムの拡充を進めていた本学。だが、海外に興味を持つ学生の多くは日本国内に目を向けることは少なく、日本が直面している問題などへの理解も不足している。一方で、海外の学生は日本のことに大興味を持っており「国際化だけでよいのか。国内のことも目を向けるべきなのではないか」という意見が出てきた。この意見に基づき、インターンシップなどを含めた実社会との関わりを通して、社会の課題に気づき、経験を積み場としてこのプログラムが考案された。

2015年から、まずは共通教育センターにおいてハンズオン・ラーニング科目の拡充・整備が行われ、今年度は平和学特別演習「ヒロシマ」や、香川県の豊島や、広島県の江田島などでのフィールドワークを通じて「環境」や「平和」といった大きなテーマを扱い、自分の足、目そして心で現場を感じ取ることを目標とする「社会探究実習」などが開講されている。一方で、今までキャリアセンターでもインターンシップを含めたキャリアゼミなどを開講していたが、ハンズオン・ラーニングセンターが開設される来年度以降はこの両者が一つになって運営される。

ハンズオン・ラーニングセンターを巡る動きは本学に限った話ではない。他大学でも地域創生と関わることをテーマとした学部やプログラムの開設が相次いでいる。また、国や経済界の中にも「インターンシップなどを通じた積極的な学び」を必要とする声は大きい。将来を担うことになる一員として実践的な学びを深めることは、本学のスクールモットーでもある「[Mastery for Service]」を体現する世界市民として活躍するための力を養うことにもつながる。永嶋さんも「国内で学ぶことも大きな経験値を得ることが出来る。様々な経験を踏まえて多様な視点を養い、目の前の問題をどう解決してゆけばよいかということとを常に問いかけ、主体的に学び続ける姿勢を獲得してほしい」と話す。

キャンパスを飛び出して、実社会の中で課題と向き合い、己を育てる。そんなチャレンジングな学びを4年間の大学生活の柱とするのもまた、一つの「挑戦」である。多くの学生が将来、社会に出て、社会の課題を解決する市民」となる日もそう遠くはないのかも知れない。

## 追跡!! SGU 第11回

社会に飛び出し、実践的な学びを  
ハンズオン・ラーニングセンター本格始動へ



本学のスーパーグローバル大学事業についてシリーズでお伝えしている「追跡!! SGU」。今回は来年度の4月から新たに開設される「ハンズオン・ラーニングセンター」に注目し、ハンズオン・ラーニングの実態とも併せて解説する。

ハンズオン・ラーニングセンターについての説明を行うに当たって、まずは「ハンズオン・ラーニング」とは何かという話について言及する必要がある。ハンズオン・ラーニングは本学のSGU構想の柱の一つでもある「ダブルチャレンジ制度」の中に組み込まれている。ダブルチャレンジ制度では、本来の学部の学びに加えて留学プログラムや副専攻プログラムなどを受講することになる。その中の選択肢の一つがこのハンズオン・ラーニングだ。

SGU構想を進める中で、どの報道もあるが、まだまだ問題は山積みだ。外国人労働者の保護や国民と外国人の相互理解が不十分な状態で、早急な外国人労働者の大量流入を行うことは地方行政及び国民、在日外国人の生活を混乱させ、新たな問題を生み出すだけにすぎない。そもそも現在起こっている問題への対処すら十分にできてはいないのだ。安価な労働力という果実に目を奪われてばかりでは、近いうちにその根に足をすくわれる時が来るだろう。政府にはぜひとも慎重な受け入れと現状の課題への早急な対策をしてもらいたい。

海外に向けたプログラムの拡充を進めていた本学。だが、海外に興味を持つ学生の多くは日本国内に目を向けることは少なく、日本が直面している問題などへの理解も不足している。一方で、海外の学生は日本のことに大興味を持っており「国際化だけでよいのか。国内のことも目を向けるべきなのではないか」という意見が出てきた。この意見に基づき、インターンシップなどを含めた実社会との関わりを通して、社会の課題に気づき、経験を積み場としてこのプログラムが考案された。

2015年から、まずは共通教育センターにおいてハンズオン・ラーニング科目の拡充・整備が行われ、今年度は平和学特別演習「ヒロシマ」や、香川県の豊島や、広島県の江田島などでのフィールドワークを通じて「環境」や「平和」といった大きなテーマを扱い、自分の足、目そして心で現場を感じ取ることを目標とする「社会探究実習」などが開講されている。一方で、今までキャリアセンターでもインターンシップを含めたキャリアゼミなどを開講していたが、ハンズオン・ラーニングセンターが開設される来年度以降はこの両者が一つになって運営される。

ハンズオン・ラーニングセンターを巡る動きは本学に限った話ではない。他大学でも地域創生と関わることをテーマとした学部やプログラムの開設が相次いでいる。また、国や経済界の中にも「インターンシップなどを通じた積極的な学び」を必要とする声は大きい。将来を担うことになる一員として実践的な学びを深めることは、本学のスクールモットーでもある「[Mastery for Service]」を体現する世界市民として活躍するための力を養うことにもつながる。永嶋さんも「国内で学ぶことも大きな経験値を得ることが出来る。様々な経験を踏まえて多様な視点を養い、目の前の問題をどう解決してゆけばよいかということとを常に問いかけ、主体的に学び続ける姿勢を獲得してほしい」と話す。

キャンパスを飛び出して、実社会の中で課題と向き合い、己を育てる。そんなチャレンジングな学びを4年間の大学生活の柱とするのもまた、一つの「挑戦」である。多くの学生が将来、社会に出て、社会の課題を解決する市民」となる日もそう遠くはないのかも知れない。

ハンズオン・ラーニングセンターについての説明を行うに当たって、まずは「ハンズオン・ラーニング」とは何かという話について言及する必要がある。ハンズオン・ラーニングは本学のSGU構想の柱の一つでもある「ダブルチャレンジ制度」の中に組み込まれている。ダブルチャレンジ制度では、本来の学部の学びに加えて留学プログラムや副専攻プログラムなどを受講することになる。その中の選択肢の一つがこのハンズオン・ラーニングだ。

SGU構想を進める中で、どの報道もあるが、まだまだ問題は山積みだ。外国人労働者の保護や国民と外国人の相互理解が不十分な状態で、早急な外国人労働者の大量流入を行うことは地方行政及び国民、在日外国人の生活を混乱させ、新たな問題を生み出すだけにすぎない。そもそも現在起こっている問題への対処すら十分にできてはいないのだ。安価な労働力という果実に目を奪われてばかりでは、近いうちにその根に足をすくわれる時が来るだろう。政府にはぜひとも慎重な受け入れと現状の課題への早急な対策をしてもらいたい。

海外に向けたプログラムの拡充を進めていた本学。だが、海外に興味を持つ学生の多くは日本国内に目を向けることは少なく、日本が直面している問題などへの理解も不足している。一方で、海外の学生は日本のことに大興味を持っており「国際化だけでよいのか。国内のことも目を向けるべきなのではないか」という意見が出てきた。この意見に基づき、インターンシップなどを含めた実社会との関わりを通して、社会の課題に気づき、経験を積み場としてこのプログラムが考案された。

ハンズオン・ラーニングセンターを巡る動きは本学に限った話ではない。他大学でも地域創生と関わることをテーマとした学部やプログラムの開設が相次いでいる。また、国や経済界の中にも「インターンシップなどを通じた積極的な学び」を必要とする声は大きい。将来を担うことになる一員として実践的な学びを深めることは、本学のスクールモットーでもある「[Mastery for Service]」を体現する世界市民として活躍するための力を養うことにもつながる。永嶋さんも「国内で学ぶことも大きな経験値を得ることが出来る。様々な経験を踏まえて多様な視点を養い、目の前の問題をどう解決してゆけばよいかということとを常に問いかけ、主体的に学び続ける姿勢を獲得してほしい」と話す。

キャンパスを飛び出して、実社会の中で課題と向き合い、己を育てる。そんなチャレンジングな学びを4年間の大学生活の柱とするのもまた、一つの「挑戦」である。多くの学生が将来、社会に出て、社会の課題を解決する市民」となる日もそう遠くはないのかも知れない。



新月祭  
写真館

# 新月祭2016

—ヒカリ—

この月は僕らを輝かせる

SHINGETSUSAI 2016

## 新月祭を締めくくる凱旋ライブ

@中央芝生

### 11/6 キュウソネコカミLIVE

上ヶ原での新月祭最終日に行われたのは、「FM802 ROCK KIDS 802学園祭 SPECIAL LIVE! 祭! 祭! 祭!」キュウソネコカミ LIVE 2016 ~ Welcome Home! KG vibration!! ~だ。キュウソネコカミは、2014年にメジャーデビューした5人組のロックバンドで、メンバー全員が本学出身であることは皆さんもよくご存知だろう。



▲ボーカルのヤマサキセイヤさん



▲中央芝生特設ステージにて

満を持しての凱旋ライブ。会場を見渡すと、グッズを身

に付けた人も多く、彼らの人気うかがえた。そして15時45分、大勢の観客が待ちわぶる中、ついにキュウソネコカミが本学の舞台上に上がった。

ライブは約1時間半に渡って開催された。キュウソネコカミのメンバーは、ステージ上だけでなく、会場の中心まで行ったり、観客の間を通りながら歌ったりと、会場の隅々まで熱狂させた。ライブを観に来ていた竹内茉莉花さん(理・1)は「すごく盛り上がっていた。歌詞を関学に合わせて変えてくれたのが嬉しかった」と楽しそうに話していた。キュウソネコカミにとって初となる凱旋ライブは、大盛況のうちに終わった。今後の彼らの活動も、目が離せない。



▲観客と一体となったステージだった

## 熱気に包まれた夢のひと時

@中央講堂

### 11/5 玉木宏トークショー

このトークショーのチケット1200枚は発売日に完売した。開場前から中央講堂の入り口付近には、大勢の観客が列を作り、この企画を楽しみに待っていた。

そして開演時刻の14時になり、司会の方がステージに登り、開演すると、玉木宏さんがステージではなく、客席後方から登場し、講堂内は熱気で溢れた。玉木さんは観客とハイタッチを交わしながらステージへ上がった。現在放送中のドラマ「キャ

リヤ〜掟破りの警察署長〜」についての話や、俳優になったきっかけなど、近況から学生頃の様々な話をされた。その後、玉木さんが観客の質問に答えるコーナーがあった。この質問は、開場時に観客が入り口で書いたもので、質問に対する玉木さんの様々な答えに、講堂内は笑いの渦に包まれた。また、玉木さんは「色んなものに触れ、たくさん



▲観客の質問に答える玉木宏さん

のことを吸収してほしい」と観客にエールを送った。最後に、来場者の中から、抽選で玉木さんのサイン入り色紙や今回特別にドラマ「キャリア」のサイン入りポスターが当たるプレゼントコーナーを行った。映画、ドラマやCMで活躍される玉木さんの活動は今後も必見だ。

## なんでもありのパフォーマンス

@中央講堂

### 11/4 K.G. AWARD '16

このコンテストは、ダンスやアカペラ、お笑い、演劇、ジャグリングなどなんでもありのノンジャンルコンテストであるのが特徴だ。今回は8組が出場し、個性溢れるパフォーマンスを披露した。本コンテストの審査員は観客だ。各団体の演技が終わるごとに1〜3点の点数をつけ、平均点を競う。



▲中央講堂を笑いの渦で巻き込んだ



▲優勝したJe veux dansant

今回グランプリを受賞したのは、聖和キャンパス公認ダンスサークルの「Je veux dansant(ジュウダンサン)だ。曲が変わるたびに衣装も変わり、さまざまな表情を見せるた彼女らの演技は可愛さ、かっこ良さ、セクシーさの3つを兼ね備えた華やかさで会場を盛り上げた。

## 歌と光の交響曲

@中央芝生

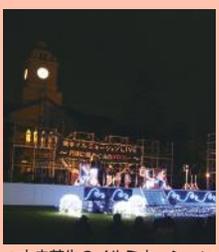
### 11/3 イルミネーションLIVE

「関学イルミネーション」が11月3日に中央芝生で行われた。今回のテーマは「月夜に煌めく海のメロデー」である。白と青の光のコンビネーションはテーマにもある海を連想させた。光で照らされたステージでは4組の出演者たちが素敵な歌声を夜空に響かせた。

昨年との違いについて、新月祭2016実行委員会イルミネーション企画責任者の石

本美奈さん(商・2)は「今年企画の規模を大きくしたいと考え、ライブステージを使用することで観客席を広くする、イルミネーションを施す範囲を広くするなどの工夫をしました」と語った。また、今回特にこだわった点について聞くと「ただのイルミネーション企画ではなく、ライブの要素を打ち出すように企画名を関学イルミネーションLIVEとしました。少しで

も多くの方に長く楽しんでいたきたいと考え、1組目と2組目の間に点灯式を行いました」と話した。ライブ後、今年のイルミネーションの感想を聞くことが出来た。会場にいた鶴藤渡さん(商・1)は「とても綺麗で、演奏も上手だった。イルミネーションも綺麗で、白と青の光の調和も良かった」と話した。



▲中央芝生のイルミネーション



※卒業アルバム委員会提供

### キャンパス 代表から一言!

西宮上ヶ原・大西純平さん (商・3)

今年度の学祭は天気にも恵まれ、無事新月祭2016が終わりホッとします。この1年間楽しいことだけではなかったですが、大切な仲間のおかげでここまでやることができました。

一緒にやってきた実行委のみんな、関わって下さった全ての方々本当にありがとうございます。

神戸三田・宮岡華奈さん (総政・3)

今年度は三田キャンパスらしさを活かした三田学祭にすることが個人的な目標でしたが、三田代表として新月祭2016をこうして無事に終えることが出来て良かったです。良い運営良い企画のためにご協力いただいた方々ありがとうございました。

西宮聖和・雨宮立さん (教・3)

みなさま、新月祭2016は楽しかったですか? 私たちが会議に会議を重ね早1年。本当に様々なことがありました。こうして新月祭2016も大きな事故なく無事に終わりました。様々な感情が胸を渦巻いていきます。新月祭2016にご来場してくださった皆様、実行委員会の仲間、支えてくださった方々全てに感謝しています。

### 魅せた、光る個性

@学生会館ホール

11/4 K.G. Festival Collection

関西学院大学学生連盟と新月祭2016実行委員会の共同企画であるファッションショーは出演者が私服で登場する一般部門と、出演者それぞれがダンサーや花魁といったテーマのもと仮装する2つの部門に分かれ、その間に出演者によるトークショーを挟む構成で行われた。出演者は

学内掲示で募集された27名。彼らがランウェイに登場するたび、観客からは大きな歓声が沸き、会場は興奮に包まれた。友達に誘われて来場したという吉岡寛明さん(社)は「ランウェイを歩く人がすごい雰囲気をもっていてカッコいい」と熱く語った。



▲新月祭初のファッションショー

で開催するのは、初めての試みである。出演者の個性を表現するという趣意に基づき、実行委員会が企画し、学生連盟が協力する形となった。本企画の責任者、川添龍之介さん(法・2)は「他の大学では開催していたのに、本学に無かったのが意外だったので、企画してみようと思った」という。また、「本日は沢山の方に来場しても

「次の後輩達次第ではありませんが、開催するならば、さらに大きな企画をつくって欲しい」と語った。来年度の本企画のさらなる躍進に期待だ。

### 軽快なトークで人生指南

@VI号館101教室

10/23 ロザンの課外授業

ロザンは、宇治原史規さんと菅原文さんによる(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属の人気お笑いコンビだ。冒頭で二人が出会った高校時代について語り、当時の同級生や教師の話題で会場の笑いを誘った。

その後、観客から事前に募った質問に基づいて質疑応答が行われた。高校生の「これから大学受験だが、大学を決める基準が分からない」という質問には、大学の学力だけではなく、学内の雰囲気やトイレの清潔さに着



▲観客にもツッコむロザンのお2人

目するといと回答した。更に、現役の大学生には、将来就職したときに他の職種の友人がいたほうが有利なため、同じ学部だけの友人と固まるのではなく、他学部の友人を作るといいとアドバイスを送った。

就職活動を直前に控える本学3回生の「履歴書に『強み』『弱み』をどのように書けばいいかわからない」という質問には、宇治原さんの長所である「頭がいいこと」は捉え方によって「理屈っぽい」と感じる人もいるように、強みと弱みは表裏一体であると話した。また、就職活動を深刻に捉えずに行うことも大切なのではないかと語った。

お二人の軽快なトークに会場は終始笑いに包まれ、大盛況の内に幕を閉じた。

### 学びと文化の交流の場に

@アカデミックコモンズ

10/22 アカデミック・ラボ

今年度のアカデミック・ラボでは、「常設ブース」として東南アジアでの活動を行う「EIA」、差別問題を扱う「Elog」、様々な地域でフィールドワークやビジネスプランコンテストに参加している都市研究会、手作り消しゴムはんこ制作を行っているけしん工房、理工学部人間システム工学科山本研究室によるVR体験が設置された。さらに、23日には三田市教育委員の出蔵裕昭さんとの竹とんぼ制作といった6つのブースが並んだ。「発表ブース」では、映像制作団体ライムライト、藤村典子さんによるバンジージャイムの演奏、全関学自主映画制作上映委員会による作品上映、モザ

イクアートの発表が行われた。常設ブースでは、ボランティアなどの学外活動の報告や参加者の体験型のブースもあり思い思いに楽しめるものだった。

発表ブースでは、ユニークな発表がたくさんあり、特にバンジージャイム演奏会では老若男女を問わず全員で一つの音楽を奏でるなど文系と理系の学部が設置されている神戸三田キャンパスならではの面白い企画がたくさん用意されていた。

またモザイクアートでは、事前に関西学院大学新月祭2016実行委員会のTwitterや、学内で事前に募集した1200枚の写真から作品を完成させていた。

### 親子とも楽しめる

@図書館前芝生

11/13 こどもまつり

にこつとらんどは、主に小さな子どもを対象とした西宮聖和キャンパスならではの企画である。

会場には、スーパーボールすくい、ころつとポウリング、はらべこスローイング、バルーンアート、アニメルパニック、宝探しといった6つのアトラクションや、景品付きのスタンプリーも用意されている。寒空の下で元気に遊ぶ子どもたちや、我が子を見つめる付き添いのお父さん、お母さんの優しい表情が場を包んだ。



▲バルーンアートに興味津々

本企画の責任者である井上理菜子さん(教・2)によると、来場者数は予想以上だったという。「聖和キャンパスには、

保育園や幼稚園があります。学生と子ども、保護者のみなさんとはすれ違うだけのことが多いです。本企画のような楽しいものを通して互いが交流を持つことができればと思っていたので、感無量です」と喜びを表現した。

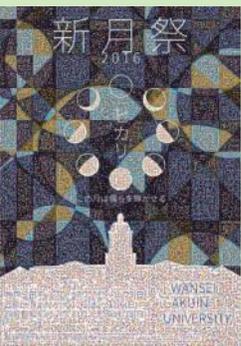
学生と地域、親と子の交流でそれぞれが文字通りにこつとしたことだろう。

### 西宮聖和 キャンパス

普段は「神戸三田キャンパスのフリー空間」として親しまれているアカデミックコモンズ。来年もまたこの場所から新たな発見があることを期待する。

### 神戸三田 キャンパス

今年度のアカデミック・ラボでは、「常設ブース」として東南アジアでの活動を行う「EIA」、差別問題を扱う「Elog」、様々な地域でフィールドワークやビジネスプランコンテストに参加している都市研究会、手作り消しゴムはんこ制作を行っているけしん工房、理工学部人間システム工学科山本研究室によるVR体験が設置された。さらに、23日には三田市教育委員の出蔵裕昭さんとの竹とんぼ制作といった6つのブースが並んだ。「発表ブース」では、映像制作団体ライムライト、藤村典子さんによるバンジージャイムの演奏、全関学自主映画制作上映委員会による作品上映、モザ



▲1200枚の写真が「ヒカル」

FamilyMart

関学生を応援しています! 関学店TEL(0798) 57-3631



『地獄は相変わらず、すぐ側にある。いや、最初から側にいたのだ。心からわかった、それだけで儲けものだ。』

星野 源

2016年が終わろうとしている。皆さんはこの1年間にどう振り返るだろう。充実していたとか、あつという間違ったとか、人それぞれ違っているものと思われる。でも他人に堂々と自慢できるような1年に果たしてなつただろうか。

火曜ドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」に現在出演中の星野源さん。俳優のほかに音楽家や文筆家の一面も持つ彼

には、あまり知られていない過去があった。2000年にバンド「SAKE ROCK」を結成、2010年にソロデビューを果たし、その芸能活動は順調なようにみえた。しかし、彼には2012年末から翌年にかけて、くも膜下出血による2度の活動休止があった。

彼のエッセイ「蘇る変態」の中で、彼は手術直後の心境をこう記している。「死ぬこ

とよりも、生きようとするこの方が圧倒的に苦しいんだ。生きるということ自体が、苦痛と苦悩にまみれたけもの道を、強制的に歩く行為なのだ。だから死は、一生懸命に生きた人に与えられるご褒美なんじゃないか。そのタイミングは他人に決められるべきではない。自分で決めるべきだ。」

そして、長い闘病生活の末、無事に退院した彼は気づいたのだ。「地獄は相変わらず、すぐ側にある。いや、最初から側にいたのだ。心からわかった、それだけで儲けものだ。本当に生きてよかった。クソ最高の人生だよ。まったく。」

死亡率が30%を超えることもいわれるくも膜下出血を乗り越え、彼は現在様々な仕事をこなしている。なかでも、昨年発売された自身4枚目のアルバム「YELLOW DANCER」は35万枚を売り上げる大ヒットとなった。まさに「生死の境」をさまよったからこそ生み出せる作品や演技があるのではないだろうか。

つまり、彼の言う「最高の人生」が人それぞれにあるのだと、「死の淵を見てきた」彼は我々に教えてくれたのだ。この扉の一言を胸に、来る2017年を生きてみるのはどうだろうか。彼の楽曲の一節を借りれば、「飛び上がるほどに嬉しい日々がこれから起こるはず」なのだから。

本企画第九回目となる今回は、本学のすぐそばに9月4日にオープンしたばかりの「麺屋 食べてイケ麺」を紹介する。正門を出て南へ徒歩3分、西宮上ヶ原キャンパスのすぐそばにあるラーメン屋。個性

# 教授の背中

## 阪倉 篤秀

文学部 教授



今回は、アジア史、主に中国史を研究している文学部の阪倉篤秀教授取材した。先生は1973年に現在の本学文学部文化歴史学科アジア史専修の前身である文学部史学科東洋史専修を卒業した後、本学大学院へ入学し、2年目には修士課程を修了し、またその3年後には博士課程を満期退学した。その後、本学文学部助手となり、専任講師、助教授を経て教授となつて、現在も日夜研究に勤しんでいる。また、そのほかにも文学部学生主任、教職課程室副主任、大学図書館副館長、文学研究科教務学生主任、評価情報分析室副室長、文学部長、学校法人関西学院 常任理事等も歴任した。

先生は現在、明の内閣制度、吏部の人事政策について研究しているが、学部時代は高校の教師を志しながらモンゴルに関する研究をしていたそうだ。モンゴルに関心を持ったきっかけは、当時読んでいた井上靖の『蒼き狼』という小説が、モンゴル帝国初代皇帝のチンギスハーンをモデルとして書かれていたからだと言

### 挑戦することの大切さ

る。その後、大学院在学中に教授から中国の研究をしてみないかと指導され、現在の研究テーマになった。続いて先生の学生時代について質問すると、「勉強にあまり熱心でない学生でした」と意外な一言が返ってきた。先生は大学受験の際、1年間の浪人生活を経験した後、私立大学で唯一受験していた本学へ不本意だが入学した。そのため、本学での勉強にあまり身が入らないままに学生生活を過ごしていたが、2年生の秋にふと「このままではいけない、何かに取り組んでみよう」と考え勉強に向き合うことにしたそうだ。また、1968年ごろから盛んに行われていた学生運動も在学期間が重なり、大学の入学式、卒業式の両方が行われなかった珍しい学年だったと話していた。最後に先生は、「何でも良いので目標を持ち、時間のある学生時代に最大限の努力をしてほしい」と関学生にメッセージを送った。まさしくその言葉は、第一志望の大学に落ちて本学で教授をしている先生が体現しているように感じられた。

#### さくら あつひで

- 1973年 関西学院大学文学部史学科(東洋史学専修)卒業
- 1975年 関西学院大学文学研究科修士課程修了(日本史学専攻)
- 1978年 関西学院大学文学研究科博士課程単位取得満期退学(日本史学専攻)
- 1988年 関西学院大学文学部教授
- 1998年 関西学院大学文学研究科前期課程指導教授
- 2000年 関西学院大学文学研究科後期課程指導教授

おすすめのお店探し隊!  
vol.9.  
「麺屋 食べてイケ麺」



人で入ることに抵抗がある女性客にも来店してもらいやすくするためのものだという。また、店内には3丁や充電用のコンセントも設置され若い客層を大歓迎している。看板メニューはカラ麺。全



カラ麺 (700円~)

人であることに抵抗がある女性客にも来店してもらいやすくするためのものだという。また、店内には3丁や充電用のコンセントも設置され若い客層を大歓迎している。看板メニューはカラ麺。全

る。なるほど、新陳代謝を良くして食べた者をイケメンにしてくれそうだ。麺を平らげた後は、ごはんをスープに入れて雑炊風にして食べるのも良い。食後、にんにく臭が口に残らないのも嬉しい。サイドメニューの人気商品は、菌ごたえコリコリ、肉はジューシーな豚なんこつ。カラ麺に非常によくマッチした一品だ。



清潔感あふれる店内



豚なんこつ (300円)

☆基本情報☆

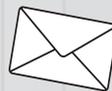
- 営業時間  
11:30~14:00  
17:30~22:00
- 定休日  
日曜日
- 住所  
西宮市上ヶ原三番町3-23  
メイハイツ101号  
西宮上ヶ原キャンパス正門  
を出て南へ徒歩3分
- TEL  
0798-31-6775



# K.G. studio

今回のK.G.studioは部室だよりとK.G. PEOPLEです。部室だよりではユネスコ研究部に、K.G. PEOPLEではヒューマン・サービス支援室学生コーディネーター代表の後藤実紗子さんに話を聞きました。

## 部室だより vol.18



### ユネスコ研究部

**ユネスコ研究部**  
部員数：61名  
活動日：月曜日～金曜日  
12:40～放課後  
部 室：新学生会館3階

#### K.G. PEOPLE

### #21. ヒューマン・サービス支援室 学生コーディネーター代表

#### 後藤実紗子さん(文・3)



支援室のパンフレットと後藤さん

ボランティア活動を始めてみたい、でもどう動き出したらいいかわからない……そんな人を導く、ヒューマン・サービス支援室の学生コーディネーターの代表、後藤実紗子さん

さん(文・3)に話を聞いた。学生コーディネーターは総勢29人で、週2回のミーティングを通じて情報の収集・発信や、支援室に相談に来た学生に合ったボランティア活動を紹介する、活動の企画・運営が主な活動だ。

中学、高校でも地元の大府箕面市で小学生キャンプの引率や、廃棄される図書の利用を促す活動をしてきた後藤さん。大学でもボランティア活動をしようと考え、この学生コーディネーターを選んだ。本学でボランティア活動を

行っている。月2回部内で世界遺産についてプレゼンテーションをされているようですが、行う日程は決まっていますか？北：はい。第2水曜日・第4月曜日にG号館の会議室などで行います。

後藤さんは「今年からヒューマン・サービス支援室が、様々な変化があった。私たちの代は、これからの代のために種を撒く、つまり土台作りをしたのが主だ」と謙虚な姿勢を見せた。また、先輩達へは「支援室になったことで学生の力だけでなく、教職員との協力も得られるようになったが、逆に大人が入ることなどで生じる問題もあるかもしれない。それでも、学生だからこそ築けるコミュニティや、フットワークの軽さを生かしてほしい。そして、失敗を失敗と思わず、前に進み、活動の輪を大学内だけでなく、外、さらには周りの地域にまで広げてほしい」と語った。

「お帰り」背後から、その声をかけると、彼女は、「待って」と言って振り返った。思ってたより、ずっと眩しい笑顔で、

えています。新・世界遺産検定を受験するのは主にいつ頃ですか？北：世界遺産検定は年4回あり、部員は受けたい時に受験しています。しかし、1級は春・夏の年2回しか受験できません。

新・世界遺産検定の勉強法を教えてください。北：世界遺産検定の本があり、それには各世界遺産の要点がまとめられているので太字のところや赤で書かれたところを中心に覚えていきます。レベルは2級までが高校生・大学生、1級は大学生・社会人です。問題集を解き、テキストを見て勉強するのが良いでしょう。

将来についてはNPOやNGOといった、常にボランティアを生み出す側に立つことは考えていないと話した後藤さん。しかし、学生コーディネーターとして様々なボランティア活動について知り、なぜボランティア活動が生まれたのかを考えるようになったという。そして、社会で救えない問題、ボランティア活動によって補われていること、互いに支え合うための地域の輪を大切にしているかどうかも、就職活動における企業選びの判断材料に加えるようになってきた。

「追いかけていいの？」誰かに尋ねられた。聞こえたわけじゃない。でも、確かに、背中を押された。「少しだけ手を伸ばしてごらん」また、何が語り掛けているんだろうか。空耳？ 風？ 今見ている海から聞こえるさざ波？ 古い記憶？ それとも、この歌声。柔らかく、心地よい。上質の毛布のような、しかし暖かいのとは違う。本当に、そっと寄り添い、包んでくれるような。

新・なるほど。世界遺産旅行というものは、海外に行かれることもあるのですか？北：いいえ。海外ではなく、主に国内です。年4回日帰りで、長期休みは2泊3日で旅行に出かけます。旅先は旅行長・幹部・下級生を中心に考

えています。新・世界遺産検定を受験するのは主にいつ頃ですか？北：世界遺産検定は年4回あり、部員は受けたい時に受験しています。しかし、1級は春・夏の年2回しか受験できません。

新・世界遺産検定の勉強法を教えてください。北：世界遺産検定の本があり、それには各世界遺産の要点がまとめられているので太字のところや赤で書かれたところを中心に覚えていきます。レベルは2級までが高校生・大学生、1級は大学生・社会人です。問題集を解き、テキストを見て勉強するのが良いでしょう。

「追いかけていいの？」誰かに尋ねられた。聞こえたわけじゃない。でも、確かに、背中を押された。「少しだけ手を伸ばしてごらん」また、何が語り掛けているんだろうか。空耳？ 風？ 今見ている海から聞こえるさざ波？ 古い記憶？ それとも、この歌声。柔らかく、心地よい。上質の毛布のような、しかし暖かいのとは違う。本当に、そっと寄り添い、包んでくれるような。

えています。新・世界遺産検定を受験するのは主にいつ頃ですか？北：世界遺産検定は年4回あり、部員は受けたい時に受験しています。しかし、1級は春・夏の年2回しか受験できません。

新・世界遺産検定の勉強法を教えてください。北：世界遺産検定の本があり、それには各世界遺産の要点がまとめられているので太字のところや赤で書かれたところを中心に覚えていきます。レベルは2級までが高校生・大学生、1級は大学生・社会人です。問題集を解き、テキストを見て勉強するのが良いでしょう。

「追いかけていいの？」誰かに尋ねられた。聞こえたわけじゃない。でも、確かに、背中を押された。「少しだけ手を伸ばしてごらん」また、何が語り掛けているんだろうか。空耳？ 風？ 今見ている海から聞こえるさざ波？ 古い記憶？ それとも、この歌声。柔らかく、心地よい。上質の毛布のような、しかし暖かいのとは違う。本当に、そっと寄り添い、包んでくれるような。

「追いかけていいの？」誰かに尋ねられた。聞こえたわけじゃない。でも、確かに、背中を押された。「少しだけ手を伸ばしてごらん」また、何が語り掛けているんだろうか。空耳？ 風？ 今見ている海から聞こえるさざ波？ 古い記憶？ それとも、この歌声。柔らかく、心地よい。上質の毛布のような、しかし暖かいのとは違う。本当に、そっと寄り添い、包んでくれるような。



世界遺産検定の勉強に励む部員達

## 文芸部 読み切り小説 『浜辺歌』

速水亮

歌声が聞こえた。どこからともなく、流れてくる。不思議と聞き覚えのある歌声だった。あなたは誰？

「追いかけていいの？」誰かに尋ねられた。聞こえたわけじゃない。でも、確かに、背中を押された。「少しだけ手を伸ばしてごらん」

また、何が語り掛けているんだろうか。空耳？ 風？ 今見ている海から聞こえるさざ波？ 古い記憶？ それとも、この歌声。柔らかく、心地よい。上質の毛布のような、しかし暖かいのとは違う。本当に、そっと寄り添い、包んでくれるような。

行ってみるか。不思議とそんな気持ちになった。声は、少し離れた海岸から聞こえていた。

「居てくれるかな。いや、きつと声の主は、まだそこにいるはずだ。」

「そう。それでいい。簡単な事なんだよ」また、声を押して押して。それは、空耳でも、風でも、さざ波でもなかった。古い記憶。でも、それは、この歌声から滲み出したものだ。きつと、少しづつ、前へ前へと押し出して。出てくるこの声は、歌声から聞こえるもの。強く前へと押し出して。出てくるこの声は、歌声から聞こえるもの。強く前へと押し出して。出てくるこの声は、歌声から聞こえるもの。強く前へと押し出して。

「ああ。知ってる声だ。また会えるのかもしれない。とくん、と胸が高鳴った。立ち上がって、海を一瞥してから、声の聞こえる方に向けて、一歩を踏み出す。」

「最初に、何て言うの。そんなことを考えながら、また一歩、もう一歩、前へ進む。いや、前へ進むというのはおかしい。歌声に誘われるようにして、その声の主の方へと、近づいていく。きつとそこにいるのは、思い描いている通りの人。」

「最初の一声は……やっぱ、「お帰り」だよな。きつと、会えなかったのだから。ようやく、もう一度会うことが出来るのだから。きつと、背後から声をかけたら、驚きで目を丸くしてこちらを振り向くのだろう。それとも、案外勘のいい彼女なら、知ってた、と言わんばかりに微笑みをたたえてこちらを見るのだろうか。」

「嬉しさを、舞い上がっている。何より、一歩近づくと、鼓動が早くなっている。柔らかな歌声。それが、はつきり聞こえてくる。やがて、視界の先に、彼女の背が見えた。思い描いていた通り。細くて、華奢で。しかし、弱々しいわけではなく、柔らかな中に、芯の強さを感じさせる。きつと、すつと伸びた姿勢が、それを感じさせるのかもしれない。穏やかに強く主張するわけじゃないけど、凜としている。」

「お帰り」背後から、その声をかけると、彼女は、「待って」と言って振り返った。思ってたより、ずっと眩しい笑顔で、

# 総部長は、イケメンとおいしいものが食べたい。

Merry Christmas!



**北村 明信さん**  
 (商・3) / 体育会サッカー部男子



☆イケメンデータ☆  
 チャームポイント: 目 性格: 常に笑顔でプラス思考  
 好きなタイプ: 一緒にいて落ち着く人  
 好きな食べ物: チョコレート  
 イケメンエピソード:  
 高校(男子校)時代、女子校の生徒数名が学校に来て「一緒に写真を撮ってください」と言われた

**甲東園**  
 おくもりのカフェ Ondes



甲東園から徒歩1分という、関学生にとって最高の立地。オーナーのPattyさんとの会話を楽しみながら、心のこもった食事やお菓子を楽しめる、小さなかわいいお店。  
 住所 西宮市松籟荘11-15  
 TEL 070-6929-0822  
 Open 11:00~20:00  
 月曜定休日

—今年も、この季節が来てしまった…  
 この特集は、今号をもって新聞総部を引退するグルメな総部長による渾身の力作である。紹介しているお店はどれも、街中がクリスマスモードの今、カップルで訪れるのにピッタリだ。しかし、現在独り身の総部長は、同じく独り身の読者への配慮も忘れてはいない。総部長の独断と偏見に基づいた人選のため、個人的な好みも顕著に表れ過ぎてはいる気もしなくはないが—なんとイケメン3人との擬似デート気分を楽しめるという工夫が凝らされているのだ!独り身の方々にも、ぜひ目の保養を兼ねてこの特集を楽しんでいただければと切に願う。

**西宮北口**  
 正統派アイリッシュPUB  
 カプリシカ



存在感のあるバックバーや季節感が溢れる内装が醸し出す、おしゃれな雰囲気の中で楽しむフィッシュ&チップスは逸品。ゆったりしたテーブル席もあるので、バーやパブ初心者も安心。  
 住所 西宮市甲風園1-4-15 2F  
 TEL 0798-66-5399  
 Open 11:00~15:00(Lunch&Cafe)  
 15:00~24:00(Pub&Cafe/Restaurant)  
 12月31日~1月2日休業

**神戸三宮**  
 ロマンチックな空間  
 フロインドリーブ 生田店



旧神戸ユニオン教会の礼拝堂を改装した、開放的でロマンチックな店内に感動すること間違いなし!ゲベック(焼き菓子)やサンドウィッチなど、メニューが豊富なので、カフェ利用にも食事利用にもぴったり。  
 住所 神戸市中央区生田町4-6-15  
 TEL 078-231-6051  
 Open 10:00~19:00  
 水曜定休日

**玉城 旭さん**  
 (商・3) / 体育会重量挙げ部



☆イケメンデータ☆  
 チャームポイント: 福耳 性格: 打ち解けるとよく喋る  
 好きなタイプ: 気を使わないでいられる人  
 好きな食べ物: 肉以外(最近肉の食べ過ぎ)  
 イケメンエピソード:  
 アルバイト先の塾の生徒から、バレンタインデーにたくさんチョコレートもらえる

**梅田**  
 愛の共同作業  
 たこ焼処 蛸之徹  
 マルビル店



恋人や友達と一緒に、たこ焼き作りを楽しめる。コレステロールゼロの油や種類豊富なタレなど、こだわりポイントもたくさん!英語の作り方の説明書もあるので、国際カップルにも◎  
 住所 大阪府大阪市北区梅田1-9-20  
 大阪マルビルB2  
 TEL 050-5797-4922  
 Open 月~土11:00~23:00  
 日祝11:00~22:30  
 大阪マルビル定休日は休業

**小西 智之さん**  
 (法・3) / 応援団総部指導部



☆イケメンデータ☆  
 チャームポイント: 美声 性格: いじられる  
 好きなタイプ: 明るくてサバサバした人  
 好きな食べ物: ラーメン、ミルクレープ  
 イケメンエピソード:  
 アルバイト先の居酒屋で、女性のお客さんに声をかけられやすい

**門戸厄神**  
 のんびり贅沢朝ごはん  
 スプーンカフェ



「日中はお互い忙しく、デートする時間なんてない!」というカップルは、おいしい朝食と一緒に楽しんで、朝の時間を有効活用してみたい? 総部長のおススメは、写真のホットドッグです!  
 住所 西宮市門戸17-48  
 TEL 0798-52-0077  
 Open 平日8:00~21:00  
 土9:00~21:00  
 日祝9:00~20:00  
 年中無休

## 関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

● 取得できる車種 ●

- 大型車・中型車・普通車(AT/MT)・
- 大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



兵庫県公安委員会指定  
**三田自動車学院**

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995  
 E-mail:sanda-as@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com

